

Next Trend 一般廃棄物事業

～ 許可業者の視点 ～



事業に乗り出した。この7月から、同社が県内の自社6工場で利用している高圧電力を全てCO₂フリー電力に切り換えるのを皮切りに、収集運搬の契約をする顧客にも、廃棄物から生れた電力を地産地消の再エネ電力として取り入れることで、CO₂の大幅削減につながる新たなサービスを提案する。

収集した廃棄物を電力に変換、顧客の電気料金に割引還元

「環境のミカタモデル」として打ち出すこの取り組みは、JFEエンジニアリンググループの新電力事業会社アーバンエナジー(株)(神奈川県横浜市)、バイオガスを発電事業を手掛けるアーキアエナジーグループの(株)ゲネシス(静岡県牧之原市)と連携したかたちで展開する。ベースになるのは、3社協業による以下の電力供給スキームだ。

環境のミカタが排出事業者から食品廃棄物などを回収し、牧之原市内にあるゲネシスのバイオガス発電施設に搬入する。ゲネシスはバイオガス発電を行ってアーバンエナジーに売電、アーバンエナジーは環境のミカタの顧客である排出事業者へ新電

エネルギーのリサイクルグループでCO₂削減の新たなサービス提供

環境のミカタ(株)

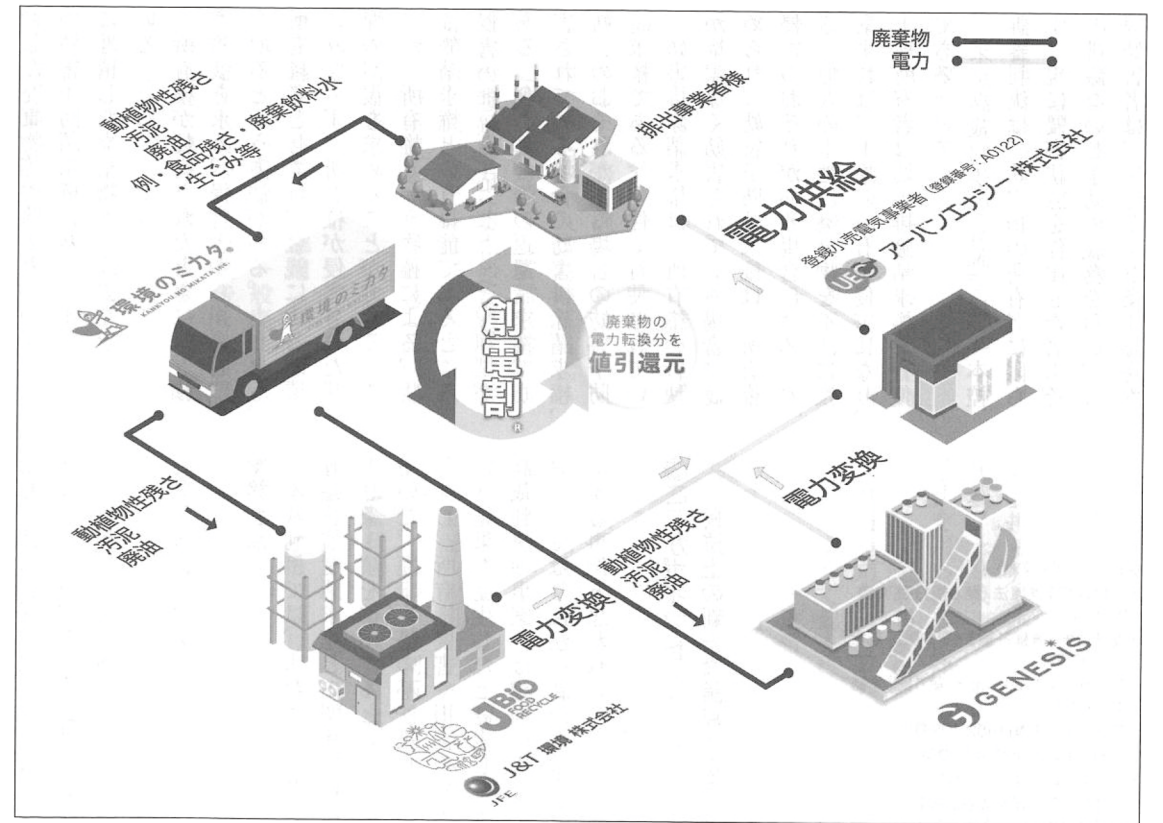
産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・処分・リサイクルから行政委託事業まで幅広く手掛ける環境のミカタ(株)(静岡県焼津市)は、同社が収集した廃棄物を電力に変換し、排出事業所に新電力を還元する独自の「エネルギーのリサイクルグループ」

ジーに売電する。アーバンエナジーからは、ゼロエミプラン[®]の契約に基づいてCO₂フリーの再エネ電力を購入し、全6工場で使用する年間345万6000kWhの高圧電力から切り替えることで、2841t/kWh時のCO₂削減につなげる。

この自社の取り組みと並行して、顧客に創電割のサービスを提案していくうえで、キーワードとなるのが、従来の食品リサイクルグループとは概念の異なる「エネルギーのリサイクルグループ」という考え方だ。この新たなリサイクルグループでは、電気の地産地消という要素も重要なポイントになる。

電気の地産地消を前面に静岡地区のスキーム構築

電力供給スキームで協業するアーバンエナジーは、これまで横浜市内を中心にJFEグループが運営する焼却発電施設やバイオガス発電施設から電力を買い取るかたちで、同様のスキームをグループ内で展開し、パシフィック横浜や横浜スタジアムなどに創電割のサービスを提供してきた実績を持つ。今回、環境のミカタ、ゲネシスと協業することで、電気



電力供給スキーム

の地産地消を前面に打ち出しつつ、このスキームを静岡県内で展開する体制を整えたことになる。

一方、ゲネシスでは、環境のミカタを通じて、バイオガス発電の原料となる食品廃棄物の搬入量増加を見込む。食品廃棄物としては、産業廃棄物を対象に受け入れる。

今後、環境のミカタでは、同社が収集運搬する廃棄物のうち、現在は単純焼却に回している汚泥や廃プラスチックについても、JFEグループのJ&T環境(株)(横浜市)が運営する焼却発電施設を活用するスキームで、顧客に創電割のサービスを提案する方向で検討している。また、J&T環境が2022年度秋の運転開始をめぐり、愛知県小牧市内で建設を進めているバイオガス発電所を活用することを想定したかたちで、食品リサイクルの分野で創電割をセットにした営業を、中京圏に拡大していくことも視野に入れる。

環境のミカタの渡辺和良社長は、「SDGsの取り組みの一環として、環境のミカタモデルとなる新たなエネルギーのリサイクルグループを提案しながら、お客様とともにCO₂の排出削減に貢献し、新規顧客の拡大にもつなげていきたい」と抱負を

語った。

家庭系生ごみもバイオガス利用へ

環境のミカタは、1977年の設立。産業廃棄物の収集運搬・処分をベースに、廃プラスチックのリサイクルなどを手がけ、2020年9月に旧チユーサイから現社名に変更した。今年4月には、グループ会社で一般廃棄物の収集運搬・処分や食品廃棄物の肥料化事業を手がけていた(株)エコライフアシストを合併し、現在にいたる。

旧エコライフアシストから引き継いだ肥料化施設では、静岡県藤枝市の家庭系生ごみも受け入れており、当面は肥料化を継続していくことになるが、将来的には、市の浄化センターの下水汚泥を利用して月島機械(株)が行っているバイオガス発電事業に参画し、生ごみをスラリー化してバイオガス利用する方向で準備を進めている。2019年11月には、技術的な実証研究を行うため、生ごみの収集運搬を行う環境のミカタが、技術提供元のアーキアエナジー(株)及び月島機械とともに藤枝市と連携協定を締結した。W (本誌・新倉)



グループの代表取締役社長。環境のミカタでは、①産業廃棄物の収集運搬・処理・リサイクル、②一般廃棄物の収集運搬・処理・リサイクル、③バイオガス発電事業、④油販売事業の4つの柱からなる事業を手掛ける。